

地域の農業者と連携した良質な米づくり (農事組合法人成和農園 (前 成和建设株式会社))

<法人の概要>

所在地：岩手県花巻市

設 立：平成26年9月

資本金：300万円 売上高：8,000万円(平成27年見込)

組合員：6名(うち農作業従事3名)

経営面積：2.9ha 農作業受委託：65ha(平成26年度)

営農作物：水稻、麦

農業開始時期：平成27年1月(成和建设株式会社としては平成21年4月)



育苗作業



田植え風景

<農業参入に至った経緯・動機>

- ・約20年ほど前から大規模ほ場整備事業に参入し、ほ場整備に取り組んできたが、後継者を失い、高齢となった農家の方々から「農業を手伝ってほしい」と相談を受けるようになった。
- ・公共工事が減少し、余剰人員の雇用問題が発生した。
- ・法改正で、農地をリースで借り受けられるようになった。
- ・これらの経緯から、建設会社に農業部門を設立した。

<農業参入することを決めてから営農開始まで>

- ・地域の営農組合からの農作業受委託から開始。
- ・農業改良普及センターから経理指導を受ける。
- ・平成20年12月、特定法人貸付事業に関する基本協定を花巻市、花巻農業振興公社と締結。
- ・荒廃した農地整備は、本業である建設機械を使用して行ったが、予想以上に整備費用が増大した。
- ・ほ場整備事業等土木技術の経験を生かして、農地整備を行った。

＜営農開始から現在まで＞

- ・育苗施設は、解体工事中に離農者からのハウスを手ばらしで移設、有効活用することから開始。
- ・建設業としての既存の技術と設備を複合的に農業に利用。
- ・JAいわて花巻からカントリー施設を購入。自社で修繕等を行い、乾燥機等の設備も整備。
- ・農作業は、社長をはじめ30～50年のベテランが従事。個々の長年の経験を活かして資質の向上に努めている。
- ・プール育苗、浅層チップ暗渠の施工、有機堆肥の使用による循環型営農を目標とした。
- ・経営面積の増加に伴い効率的な営農を行うため、平成26年に農事組合法人を設立。金矢地区の水田農業の維持・発展に貢献している。

＜今後の農業経営の展開方向＞

- ・今後の目標は、平成30年までに農地賃貸借100haに拡大。
- ・コストの削減が課題。
- ・土木技術・農業技術双方向の継承と後継者育成。
- ・地域の高齢者の雇用を継続するなど地域雇用の拡大に努め、後継者がいなくても心配することがないよう地域農業の継承、耕作放棄地解消と地域活性化に貢献してまいりたい。
- ・後継者育成において、新卒者を採用（若手育成に力を入れたい）。



大型機械を使っでの稲刈り作業